



# 「放課後」は子供を育てる 成長にかかせない大切な時間を守るために



近頃、公園などで子供たちが集まって無言でゲームをしている光景を目にすることはありませんか。また、塾や習い事などで忙しい子、親が帰ってくるまで一人で過ごす子も…。以前と比べて、放課後の子供たちの環境は変化しています。子供の成長にとって、より良い放課後の環境にするために、私たち大人は何ができるのでしょうか。

問 放課後事業課 (0798・35・3652)

## そもそも 今、子供たちの放課後はどうなってるの？

現在の子供たちを取り巻く放課後の環境を、子供や周囲の大人のつぶやきから読み取ってみましょう。  
(子供の居場所づくりコーディネーターによる聞き取りや、教育連携協議会での意見から抜粋)



子供たちにとって放課後の時間は、遊びの中で社会性や協調性を学ぶ場でした。近年、子供たちのコミュニケーション能力の低下や社会・協調性が欠如していると耳にするようになりましたが、もしかすると**子供たちを取り巻く環境の変化**が関係しているかもしれません。

例えば

さまざまな学年の子が交じり合って遊び、けんかや仲直りをする機会の減少

例えば

近所の大人たちが、子供たちを寛容に見守る風土の変化

例えば

少子化の進行や、広い空き地が減少したことで、大人数で思い切り遊ぶ機会が減少

子供たちの育ちを支えていた当たり前の景色が、昔と比べて変わってしまったのかもしれない。

## そこで みんなで考えませんか？

子供たちを育てていくため、どのような環境を整えていくのが良いのでしょうか。

子供たちの望みは？

地域の大人の役割は？

## 市では より良い放課後をつくるために

市はこれまで、児童館や育成センターのほか、地域の参画を得て実施している放課後子供教室、学校施設等で放課後の遊びや学習の場を提供する子供の居場所づくり事業など、放課後の環境づくりに取り組んできました。

### 市の取り組み

- 就労家庭の子供たちに充実した生活の場を提供  
→ **留守家庭児童育成センター**
- 子供たちの体験・交流活動の場を提供  
→ **放課後子供教室事業**
- 子供たちが楽しく過ごせる居場所を提供  
→ **児童館、子供の居場所づくり事業**



▲ 開放された図書室で宿題に取り組む子供たち(子供の居場所づくり事業)

### 参加した子供たちに変化は？

子供の居場所づくり事業に携わる地域の見守りサポーターの上門さんと、参加した子供の保護者に話を聞きました。

#### 日々成長しているのを実感



最初はぎこちなく一人で遊んでいた子が、自然といろいろな学年の子と遊べるようになり、感心しています

#### 家での会話が増えました

事業に参加するようになってから「今日はこんなことしたよ」など、楽しそうに話をしてくれるようになりました



保護者

## 子供の居場所づくり事業がパワーアップ！

さらに子供が参加しやすくなるよう運用を見直した新方式「(愛称) 放課後キッズ」の試行を、高木北小学校で6月から、平木小学校で7月から開始します。

### 特徴

- 授業終了後に直接参加可能
- 終了時刻を延長し午後5時まで実施
- 長期休業中は午前8時半～午後5時まで実施 など  
⇒効果を検証し実施校を順次拡大！



市HPで検索して下さい！

詳しくは... [西宮市ホームページ](#) 🔍 [放課後キッズルーム](#) 🔍 検索



子供たちを見守るサポーター活動に興味のある人は、放課後事業課 (0798・35・3652) まで問合せを！

## 子供たちの成長を支える環境の選択肢として

子供たちは、小さな失敗を繰り返したり多様な関わり合いを通して一人前に成長していくのではないのでしょうか。大切なのは私たち大人が、子供たちの成長に必要な環境づくりにどう向き合うかだと考えています。当事業においても、子供たちの育ちの一助になることを願い、今後も成長に必要な環境づくりに取り組んでいきます。



放課後事業課 中尾 課長